KIES

KIES

Kimitsu International Exchange Society

君津市国際交流協会　会報

NO.12

〔発行・編集〕
君津市国際交流協会(KIES)
広報委員会
〒299-1152 君津市久保2-11-21
TEL (54)9877
連絡先:女性国際室 TEL(56)1265
ホームページ
http://www.tokyo-bay.ne.jp/~kies/
メール　kies@tokyo-bay.ne.jp

会長挨拶

更なる国際交流を

前田ヒサ

新世紀となり、世界の国際交流は益々盛んになると考えられます。君津市国際交流協会もこれまでに培った活動を有効に活かして、更に有意義な活動へと発展していきたいと考えます。平和な国際社会の交流を願い、これに役立ちたいと思います。

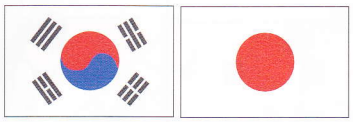
新たな交流をもとめて…韓国へ

――世界遺産と文化交流の旅――

2000.11.10～11.13

儀旺市庁舎前にて

朴議長(中央)と歓談



Korea　Japan

姜市長(左)と握手

儀旺市(ウィウァン市)って、どんな都市？

事務局長　志村壽昭

儀旺市はソウル市から南に20km程離れた所に位置した京畿道（日本の都道府県にあたる）の中西部にあります。新興田園都市で面積53㎢、人口は116、800人余りです。最近はソウル市のベッドタウンになりつつあります。

同市の21世紀志向は「希望の都市、緑の儀旺市」であり、4つの山と2つの湖に囲まれ、自然環境に恵まれています。また、産業道路および鉄道が貫通している便利な交通網を活かして、中枢的な機能都市として発展を目指しています。

姜(ヨウ)市長、朴市議会議長を始め行政の方々も国際交流、異文化交流に意欲的で、積極的な印象を受けながら歓談しました。君津市民と同市民との国際交流の端緒となれば、今回の韓国訪問は都市交流委員会事業の当初の目的は達せられたと思います。

心暖まる歓迎を受けた儀旺市訪問

都市交流委員長　西本昭子

金浦空港到着の際には、花束を持って出迎えてくださり、訪問当日は市長、議長との会談、清渓寺の見学、昼食会など心暖まる歓迎を受け、大変感激しました。清渓寺では、仏教界で三千年に一度咲くといわれるウダンバラの花を見ることができ、市長、議長と共にいただいたおいしいウナギ料理の昼食会など忘れられません。

何よりうれしかったのは、帰国後届いた、儀旺市職員の方からの手紙です。そこには、私たちの訪問により、彼の「日本や日本人に対する考え方が変わった」こと、「日本語を一言もしゃべれなかったことが恥ずかしく、日本語の勉強を始めた」とありました。情報があふれ、インターネットで瞬時に世界中とつながる時代ですが、実際に会って話すことの重要性を改めて感じました。

統一展望台にて
新世紀の韓国交流を思う

都市交流副委員長
中川　茂治

韓国と北朝鮮の国境、北緯38°線にある「統一展望台」を視察した。雪がちらつく漢川の対岸に微かに北朝鮮の台地が遠望できる。同じ民族を無惨にも引き裂いてきた半世紀の歴史は、ここを訪れる日本人の肩にも重くのしかかってくるような気がする。

そんな重苦しさにかられていた時、ふと、展望台を警備していた兵士の明るい顔が浮かんできた。銃に弾丸は入っていないと言う。さらに、展望台のスクリーンに映しだされていた現在の韓国の国勢を伝えるビデオは、一層、明るいものであった。

統一展望台にて

金大中大統領の掲げる近代化政策により整備されつつあるソウル首都圏の発展は目を見張るものがあった。高速道路、鉄道、近代化されたビル、郊外に延びるベッドタウンなど、産業、教育、文化のいずれの分野においても、日本に迫る勢いを感じた。

儀旺市は、このソウル首都圏の中で目まぐるしい発展を続けている都市であり、まちづくりの理念は「人と自然の共生」である。市長の笑顔が、歴史の重圧から解放されるような安堵感を与えてくれた。日本人に対する対応が確実に変わりつつあることを実感した。

新世紀を迎え、ワールドカップサッカーの共同開催も間近に迫っている。今、アジア社会を先導するすてきなパートナーとして、ステップアップを図ろうとしている韓国との交流は、君津市の発展にとっても意義あるものと考える。

ハングルの街を訪れて

関　晋

ソウル市南大門市場にて

ソウル市は、いたる所にあるハングル文字を除けば、日本にいると錯覚させる街で、緊急時には飛行機の滑走路として使用できる片側５車線の高速道路や地下鉄、地下街が完備された近代都市である。

新しい街並みと古い文化遺産が共存し、ヨイド島に集中する行政府と市民生活の中心地である南大門市場という東京のアメ横を思わせる華やかな商店街がある。

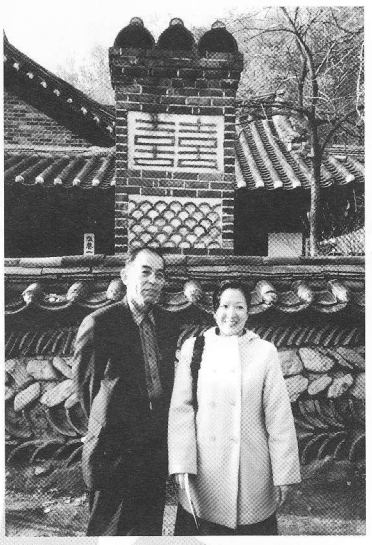
市場の路地には溢れるばかりの商品が積み上げられ、屋台には胃袋を刺激する焼き肉や鍋物の匂いが辺り一面に漂っている。商品価格もまちまちで値切り交渉が大事な買い物要素になっている。市場探索では慣れないハングル語での値下げ交渉を楽しんだ。

今までは近くて遠い国であった韓国が本当に身近な国となり、再び訪れたくなる韓国である。

カムサ・ハムニダ

三兄弟

三瓶　小百合


韓国民俗村にて

11月10日、夜8時半頃、韓国の金浦空港に着きました。気温は日本より低かった。風が出てきた瞬間に、故郷に帰ったかのような感じがしました。ハルピンの事を思い出し懐かしかったです。次の日、儀旺市市役所に行ったとき、市長と役員達に暖かく迎えていただきました。韓国の有名なお寺と昔の城を参観しました。南大門市場で買い物がゆっくりできなかったけれども、楽しかったです。韓国式お風呂とマッサージもやってみました。とっても気持ちよかったです。

民俗村が、一番印象的でした。干し柿と漬物用甕や漢方薬の香り等、私が生まれ育った中国と似ているものがたくさんありました。"囍"という字も見つけ私は嬉しくてその下で写真を撮りました。それだけじゃなくて、私が今暮らしている日本の障子もありました。外国にいる感じがなくなりました。「もともとから　日本　中国　韓国は家族、兄弟かなあー。文化がつながっているんだなあー！」と感動しました。世界中の人達もこの三兄弟のようにつながっていったらいいなあと思いました。

２キロも太って

安藤　美和子

市長、議長との昼食会

「食事を見れば、その国の文化が分かる」といいますが、今回の旅行でも、文化交流プラス韓国の食事をとても楽しみにしていました。

韓国の食事と言えば、「キムチと焼き肉」というイメージしかありませんでしたが、野菜がとっても多くヘルシーで、韓国の人が太っていないのも少し納得しました。韓国のキムチは1300年の歴史をもち、主食の穀物とのバランスをとるため、ビタミン、ミネラルの豊富な野菜を食べる事から始まったそうですが、そんな事を考えると味に深みが増してくるようです。

儀旺市の方との食事会には、なんと、ウナギが出ました。「韓国でウナギ」と不思議な気がしましたが、これがなかなかの絶品で、臭みもなく、日本の物よりさっぱりしていてとてもおいしかったです。でもウナギは、高級品らしく普通ではあまり食べないようです。

ビビンバ丼から焼き肉、キムチにいたるまで、どれもとてもおいしく最高な気分で帰ってきました。おかげで２キロも太ってしまいました。

楽しく異文化を学ぶ

10月４日、君津市立大和田小学校にて中国、韓国、タイ、フィリピンの外国人の方々による異文化の授業が行われました。たくさんの質問や各国の歌や民族衣装の試着に子供たちは大はしゃぎでした。

日本語委員会バスハイク

11月12日、日本語を学んでいる外国人35名（内子供12名）と日本人ボランティア12名で笠森観音、大多喜県民の森、オレンジランドに行きました。ビンゴゲームやハイキング、オレンジランドでのみかん狩りなど家族的な雰囲気で楽しい一日でした。

高尾山へバスハイク

10月2日、参加者20名で高尾山へバスハイクに出かけました。あいにくの雨で予定していたハイキングコースは歩けませんでしたが、昼食に珍しい精進料理をいただきました。来年度の都市交流委員会のバスハイクは晴れるといいな。

餅つき大会

１月14日、恒例となりました新年の餅つき大会が協会事務所前で行われました。外国人を含む参加者34名が自分たちでついた餅をおいしく食べました。餅つきを初めて体験した外国人の方は、大変喜んでいました。

どんど焼きで春の訪れ

２月３日、君津市大野台で行われたどんど焼きにKIES会員も参加し、春の訪れを実感しました。ニュージーランドから留学しているルーク君も、大きな火に驚いていました。

さよなら フィッシュさん

KIESで大変活躍されたスティーブン・フィッシュさんが、お仕事の関係で長野県へ転居されました。いろいろとありがとうございました。

世界の料理・韓国編

11月19日、講師には会員のサイさんと君津市内で韓国料理店をされているリーさんを迎えて、白菜キムチ、チヂミ、ナムル、焼肉、牛すじ肉のスープを教えていただきました。中でも人気だったのはやはり「キムチ作り」で参加者の皆さんもぜひ家でも試してみたいとの感想をいただきました。その他の料理も手軽にできるものが多く、おいしい本場の韓国料理を堪能しました。

食事をしながら、作ったメニューのおさらいをしたり、リーさんから韓国の食文化についてのお話、都市交流委員会の韓国ツアーに参加された西本さん、高橋さんから最新の韓国情報を聞き、楽しい時間を過ごしました。

パソコン教室を開催

H12年12月9日、千葉国際中学・高等学校のパソコン室を借りて「初心者のためのパソコン教室」を開催しました。参加者12名で2時間半の間にワープロで文書作成をしたり、インターネットを体験しました。体験後、パソコンを購入してもっと上達したいという声も聞かれました。

留学生に日本語レッスン

昨年11月より千葉国際中学・高等学校に３か月間の留学に来ていたニュージーランドのルーク君（17才）に対して、日本語教室では日本語のレッスンを行いました。ルーク君は、日本語をどんどん吸収して素晴らしく上達しました。文化は違ってもニュージーランドと日本の高校生活はよく似ているといい、留学生活を楽しんでいました。将来はニュージーランドと日本の橋渡しをする仕事に就きたいと言っていました。

イヤーエンドパーティー

H12年12月９日、年末恒例となりましたイヤーエンドパーティーがレストラン・ディジョンで開かれました。参加者は外国人を含め100余名。今年は高校生たちのバンド演奏で始まり、食事や歓談の後、フォークダンスやプレゼント交換などで盛り上がりました。華やかな民族衣装で参加した外国人も見られました。

生涯学習フェスティバル

H12年10月21日、君津市民文化ホールで行われた生涯学習フェスティバルに今年も参加しました。ステージでは平野スリーさん、高館ミミさんによるタイの踊り、山田エロイサさん（フィリピン）、尹水英さん（中国）によるスピーチを行い、ロビーでは書道作品の展示会、アジアンティーのコーナー等で賑わいました。周西中学校の生徒によるボランティア協力もありました。